

木造住宅の模型を用いた火災燃焼実験を実施

須坂市消防本部

須坂市消防本部では、近年の高気密高断熱住宅火災への対応を踏まえ、秋季全国火災予防運動期間中の平成29年11月13日（月）から15日（水）、木造住宅の模型を用いた火災燃焼実験を実施しました。

実験では、炎と煙の性状変化を確認し、バックドラフトなどの特異な燃焼現象も再現しました。実験で学んだフラッシュオーバーを遅らせる注水要領や排煙排熱要領などを、実際の火災現場に生かし、より安全で的確な消火活動につなげたいと思います。



庄原消防署消防参観日を実施

備北地区消防組合庄原消防署

備北地区消防組合庄原消防署は、平成29年11月19日（日）秋季全国火災予防運動行事及びワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の一環として、「庄原消防署消防参観日」を実施しました。

職場環境の見学や放水訓練の実施、他の家族との意見交換、消防業務への理解を求める内容となりました。また、参加した子供たちとその保護者である職員や同僚との交流が図られ、それぞれの職員にも大事な家族があることを組織内で再認識することができました。



消防通信

望

楼

ぼうろう

文化祭で「消防隊員ファッションショー」を開催

八幡浜地区施設事務組合消防署第二分署

秋季火災予防運動の一環として、平成29年11月3日（金）、地元の川之石高等学校の文化祭会場で高校生男女10名が消防吏員や消防団員の制服や活動服、防火衣等を着こなし、ファッションショーを開催しました。生徒や来場者が大勢集まる中、出場した生徒たちは音楽やナレーションに合わせて入場し、同級生や先生、来場者の前でヒーローヒロインとなり、火災予防を訴えるとともに女性消防吏員・団員募集のPRを行い、大盛況のうちに終了しました。

消防サポート隊発足
～故郷の災害 OBが守る～

出水市消防本部

平成29年11月24日（金）に「出水市消防サポート隊」を発足しました。この組織は、消防職員OB及び消防団員OBの有志により結成された登録制の専門ボランティアで、管内で大規模災害や事故等が発生した際に、消防本部及び消防団の後方支援や、防災訓練等に参加し地域防災力の向上に関する活動を実施します。発足式では、消防団員OBの成松薫さんが「これまで培った知識、技術、経験を生かし支援するとともに、災害に強いまちづくりに努めたい。」と宣誓されました。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】